

LIOJ

第20回 英語教育者のための夏期ワークショップ

Twentieth
Anniversary
Summer
Workshop
for
Japanese
Teachers of
English 1988
20周年記念大会





第20回 英語教育者のための夏期ワークショップ

The 20th Anniversary Summer Workshop for Japanese Teachers of English 1988



In this our twentieth anniversary year, we are especially happy to announce LIOJ's Annual Summer Workshop for Japanese Teachers of English.

For the past twenty years, English teachers throughout Japan have come to LIOJ's week-long Summer Workshop to acquire new teaching techniques, gain cross-cultural understanding, and refine their own English skills. Many have returned year after year to renew friendships with previous presenters and LIOJ faculty and staff, and to meet the new people which LIOJ and the Workshop continually bring together.

To celebrate our anniversary, we have invited back many people who have been instrumental in making the Workshop and LIOJ successful over the years. LIOJ and the Summer Workshop of today are products of their efforts, and through them we hope to convey a

sense of the history of the Institute and the Workshop, and of language teaching in general over two decades' time.

But as well as recalling the past, the Summer Workshop of 1988 looks toward the future. The desire to become better teachers is common among all of us who participate in the Workshop; we are all looking for professional opportunity and challenge.

This year's Workshop will include presentations which address current teacher training issues in Japan, as well as a wide variety of other topics of interest to teachers of all levels. In addition, there will be lots of time to socialize informally with other participants, language class teachers, and presenters. As in LIOJ's Business and Community Programs, "extracurricular" time is not incidental, but is an integral part of the program - the part where real communication takes place and friendships are made.

We look forward to seeing many familiar faces, meeting a host of new participants, and discussing issues in classroom teaching. We hope that you can be a part of this very special 1988 Summer Workshop.

Robert Ruud, Director

Faculty

LIOJでは、年間400~500名におよぶ海外からの応募者を書類選考ののち、毎年校長が自ら、アメリカ・カナダに渡り、1ヶ月半に及び各地で直接面接を行った上で、人格、能力ともに最もすぐれた人物を全員フルタイム教師として採用しています。英語を第二言語として教える学位E.S.L. (English as a Second Language)を修得した、経験豊富なエキスパートを中心にさまざまな分野から優れた人材を集め、高い教師の質とバラエティーを誇っています。これらの教師によって常に最高の指導を提供するための効果的な教材、教授法の研究開発がなされ、その実績は日本はおろか世界的にもトップレベルの評価をいただいております。本年は18名の専任外国人教師に加え、8名の特別招待講師、9名の特別講師を予定しております。

プログラム

Morning Lectures and Workshops by Special Presenters: **自由選択制**

特別招待講師

- Mr. Robert O'Neill: Kernelシリーズ著者
Mr. Richard Via: East-West Center
Dr. Kim Yong Sook: Ewha Womans大学 (韓国)
Dr. Manit Boonprasert: タイ商科大学 (タイ国)
Dr. Sumako Kimizuka: 南カリフォルニア大学
Rev. Paul La Forge: 南山短期大学
Mr. Yasushi Suzuki: 横浜市教育委員会
Ms. Suzy Nachtsheim: 横浜市教育委員会 他

特別講師 (LIOJ歴代校長、教務主任)

- Mr. Roland Harker: 鹿児島純心女子短期大学
Dr. William Harshbarger: ワシントン大学
Mr. Roger Pehlke: International Business Machines
Mr. Lance Knowles: International Management Communication
Mr. Derald Nielson: Language Training Consultant Associates
Mr. John Fleischauer: Ph. D. candidate, コーネル大学
Mr. Walter Matreyek: 住金インターコム
Ms. Virginia LoCastro: 筑波大学
Mr. Kevin McClure: テンプル大学日本校
Robert Ruud: 現 校長
Don Maybin: 現 教務主任
Elizabeth King: 現 教師指導担当 他LIOJ専任教師15名

Language Study Classes: **一部選択制** 参加者自身の英語力の向上を図る集中語学訓練で、10-12クラス編成で、午前と午後の2回開設されます。参加者は2つの異なるコースのいずれかを選択できます。

- Regular Language Classes: 各種の教材、教授法を利用して総合的な語学カアップを図るクラスです。
- Special Interest Language Classes: 特定の教授法や題材に焦点をあてたクラスを1つ選択し、英語力を増強するクラスです。

Afternoon Workshops: **自由選択制** さまざまな教授法、理論や新しいアイデアなどの紹介やデモンストレーションを行うセミナー、ワークショップが設定され、参加者は自身の興味によって自由に選択し、参加するプログラムです。(Use of Media, Notional/Functional Approach, Active Listening Techniques, CLL, Silent Way, Fluency/Story Squares, etc.)

昨年度は14の異なるセミナー、ワークショップが開講され、今年も同等のプログラムが計画されています。

Evening Workshops: **自由選択制** Afternoon Workshops同様の選択クラスで、教授法などのミニコース、ワークショップに加え、Cultural Topics, International Relationsについてのセミナーや韓国、中国、タイ国などの近隣アジア諸国からの特別参加者によるプレゼンテーションなど、よりグローバルな視点にたった多彩なプログラムが企画されます。昨年は17のミニコース・セミナー・ワークショップが開講されました。

公募 Special Presentations by Participants: ワークショップの参加者自身にPresenterとして参加していただき、自己の研究成果やアイデアを発表する機会を設け、相互に意見交換をすることを目的としています。

特典 採用された方(2名まで)は、特別奨学生として受講費用の一部が免除されます。希望者は事前にProposalを提出していただきます。詳しくはLIOJまでお問い合わせ下さい。多くの方のご応募をお待ちしております。

Special Interest Meetings: **自由選択制** これは参加者が日頃いただいているさまざまな興味や問題点を基に7~8つの題材を取り上げ、グループに分かれて行う参加者自身の企画によるプログラムです。

Guest Speakers: 今年も2名の著名人をゲストスピーカーにお招きする予定ですのでご期待ください。

Daily Schedule

8:30-10:15 Morning Lectures and Workshops

10:30-12:00 Language Classes

12:00-1:00 Lunch with Instructors, Free Conversation

1:00-2:45 Language Classes

2:45-3:45 Afternoon Break

3:45-5:45 Afternoon Workshops

6:00-7:00 Dinner with Instructors, Free Conversation

7:00-8:30 Evening Workshops

参加費用およびお申込方法

- 参加費用 90,000円 (授業料、宿泊代他全て含む)
- お申込方法 申込書およびアンケートに必要事項をご記入の上、LIOJ事務局宛お申込み下さい。
- お支払い方法 受講料90,000円は下記銀行口座へお振込み下さい。(現金書留でも可)尚、処理の都合上振込みは参加者名でお願い致します。(領収書は銀行発行の受取書をもって領収書に代えさせていただきます。)
- 分割払い 申込時に前納金として30,000円をお支払い下さい。残金の60,000円は7月31日までにLIOJに必着するようお支払い下さい。なお7月31日までに残額の入金がありませんと自動的にキャンセル扱いとなりますのでご注意ください。

(7月31日以前にキャンセルの連絡があった場合 5,000円)
(8月1日以後にキャンセルの連絡があった場合 30,000円)

第一勧業銀行 小田原支店 普通預金 (口座番号1346333)
第一勧業銀行 本 店 普通預金 (口座番号1166075)
三井銀行 本 店 普通預金 (口座番号0920032)
三菱銀行 本 店 普通預金 (口座番号0030510)

口座名 財団法人 エム・アール・エイ・ハウス(エル・アイ・オー・ジェイ)

目的

本年で20年目を迎えるこのワークショップは、英語教育者の方々に“英語オンリー”のTotal Immersion方式の合宿生活を通し、T.E.F.L. (Teaching English as a Foreign Language) 学会の最近の理論・実践的テクニックの紹介やデモンストレーションを行い、さまざまな効果的教授法を習得していただくとともに、LIOJで長年培われた集中教育システムの実際を体験し、参加者自身の英語力の向上を図ることを目的としています。

さらに、20周年記念大会として、本年のワークショップは国内外から17名の特別講師をお招きし、従来の選択制をさらに広げ、全プログラムに選択方式を採用し、参加者自ら企画して行うプログラムの充実、スケジュールの改善など以前にも増してバラエティーに富みかつ内容の濃いワークショップとなっています。

対象

英語教育者(主に中学・高等学校等の教師の方々)

1987年参加者比率

- 高等学校教師 57%
- 中学校教師 30%
- その他(外語学校、私塾ほか) 13%

グローバルな視点で英語教育の現状を探っていただくため、韓国、中国、タイ国などの近隣アジア諸国からも第一線で活躍中の英語教師を特別参加者として招待いたします。

定員

150名(定員に達し次第締め切ります)

期間

8月7日(日)～8月12日(金)

場所および施設

LIOJ・アジアセンター

(神奈川県小田原市所在)

LIOJは小田原市郊外の高台にそびえるアジアセンター内に設置されています。アジアセンターは国際会議場・企業の教育研修場として多くの方々にご利用いただいている地上5階地下2階の建物で箱根山を背に相模湾に面し、伊豆、大島、房総半島などを一望におさめる景勝の地にあります。冷暖房を完備した200名の宿泊施設(宿泊室は2～4名の相部屋)、会議室、映写設備、L.I.システム、VTR装置や各種スポーツ用具の無料貸出し、コインランドリー等充実した設備が用意されています。

- ◆交通の便
- 新幹線
 - 東海道線
 - 小田急線
- 小田原駅下車 駅から車で5分
- 東京駅から新幹線こだまで 42分
 - 新宿駅から小田急ロマンスカーで 70分
 - 名古屋駅から新幹線こだまで 130分

尚、前泊も可能です。ご希望の方はLIOJまでお問い合わせ下さい。

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

日本で初めて全寮制による英語集中教育方式(Total Immersion)を本格的に採用した語学教育研究機関として昭和43年3月に設立。短期間で生きた英語の習得と異文化理解を深めるとともに国籍を越えた真のヒューマン・リレーションとコミュニケーションマネジメントを体得していただくため、「英語オンリー」の徹底した生活学習環境を設定して、独自の研究開発をすすめています。

1988年事業予定

- 企業人向け〈合宿〉英語特訓課程(4週間)年間11回
(第189期~第199期)
- Testing & Evaluation Services
- 企業内教育コンサルタント
- 第20回英語教育者のためのサマーワークショップ(8月7日~8月12日)
- コミュニティーコース 春・夏・秋・冬(各10週間)年間4期
- 海外教育事業交流(韓国、中国、タイ国、インドからの奨学教師の招へい)
- クロスカルレンツの発刊(Vol.14 No.2 & Vol.15 No.1)

1987年度は、延べ2,000名を越える方々が各コースを受講され、各界からご好評をいただいております。また、語学教育と異文化コミュニケーションの機関誌の発行、効果的な教材・教授法の開発、在日外人英語教師のための「TEFL会議」の開催、アジア諸国からの奨学生の招へいなど、日本の語学教育の発展と国際文化交流に寄与しています。

Cross Currents

A Journal of Language Teaching and Cross-Cultural Communication

クロスカルレンツは、年2回LIOJの教師によって編集・発行されている英文の語学教育研究誌で、毎号6~8篇の書き下ろし論文、特にESL/EFLにおける指導法や学習法、日本の場合を念頭に置いた語学教育、さらに異文化間のコミュニケーションの問題などに関する実践的かつ有効的な論文を掲載しています。加えてBright IdeasやBook Reviewsなど英語教育者の興味をひく題材をとりあげています。そして現在、国内はもとより20ヶ国以上の国々で愛読され好評をいただいております。

ワークショップ参加者には近刊のクロスカルレンツを贈呈いたします。

LIOJ LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

(日本外語教育研究所)



ASIA CENTER, 4-14-1
SHIROYAMA, ODAWARA,
KANAGAWA 250 JAPAN
〒250 神奈川県小田原市城山
4-14-1 アジアセンター

TEL.0465-23-1677 FAX.0465-22-2466